

# 株主 通信

2018年12月期

2018.1.1 ▶ 2018.3.31

**GMO**フィナンシャルHD

証券コード：7177



## 証券・FX事業のさらなる 強化と仮想通貨事業の 大きな成長に向けて 戦略を推進

代表執行役社長  
グループCEO

鬼頭 弘泰

当第1四半期の連結業績は、証券・FX事業が全般的に好調で四半期ベースで過去最高の営業収益を記録し、利益面においても前年同一期間(2017年1-3月)比で増益を果たしました。前四半期(2017年10-12月)比では、証券・FX事業が堅調であった一方、年明けの仮想通貨の相場急落を受けた仮想通貨事業の減収と急増した口座開設に係るコストの増加などによって営業利益は微減の着地となりましたが、各種対策の実施により、2月下旬以降の仮想通貨収益は安定的に推移しています。

当社グループは、「強いものをより強くする」の方針のもと、これまで店頭FXの収益性の向上に注力し、これを改善させてきましたが、2018年度は、店頭FXのさらなる収益力強化に加えて、仮想通貨事業、証券事業の成長に向けた各種施策にも重点的に取り組めます。

特に仮想通貨事業については、GMOコインの業界シェアはまだまだ低いにも関わらず、一定の利益を出していることを鑑みると、サービス改善や広告実施などによってシェアを拡大すれば、今後、大きな成長が期待できると考えています。サービス面では、取り扱い仮想通貨の追加や取引所サービスの開始などを予定しています。今後の展開にご期待ください。

そして、7月には、GMOインターネットグループとあおぞら銀行グループで準備を進めてきたネット銀行がいよいよ事業を開始する予定です。まずは、利便性の高い銀証連携サービスによって証券事業の顧客基盤拡大を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへの長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ▼第1四半期決算のポイント

## 証券・FX事業が全般的に好調で増収増益

## 当第1四半期

営業収益

8,346 百万円

(前年同一期間比+49.6%)

営業利益

2,586 百万円

(前年同一期間比+98.7%)

経常利益

2,573 百万円

(前年同一期間比+97.0%)

親会社株主に帰属する当期純利益

1,781 百万円

(前年同一期間比+104.5%)

※ 当社は、2017年12月期に決算日を3月31日から12月31日に変更したため、参考として前年同一期間(2017年1月1日から2017年3月31日まで)との比較を記載しています。

## 当第1四半期業績レビュー

当四半期(1-3月)は、仮想通貨市場における価格下落の影響を受けて仮想通貨収益は振るわなかったものの、国内店頭FXの収益性改善効果に加えて、店頭デリバティブ取引が全般的に好調に推移したほか、信用取引手数料・金利の見直しや貸株の好調も寄与したことによって、前年同一期間比でトレーディング損益、受入手数料、金融収益が増加し、営業収益は同49.6%増の83.4億円となりました。

利益面においては、昨年10月にGMOコインを連結子会社化したことなどによって販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は前年同一期間比98.7%増の25.8億円となりました。

## ■ 四半期業績推移

(億円) ■ 営業収益 ■ 営業利益 ● 営業利益率



## 事業概況

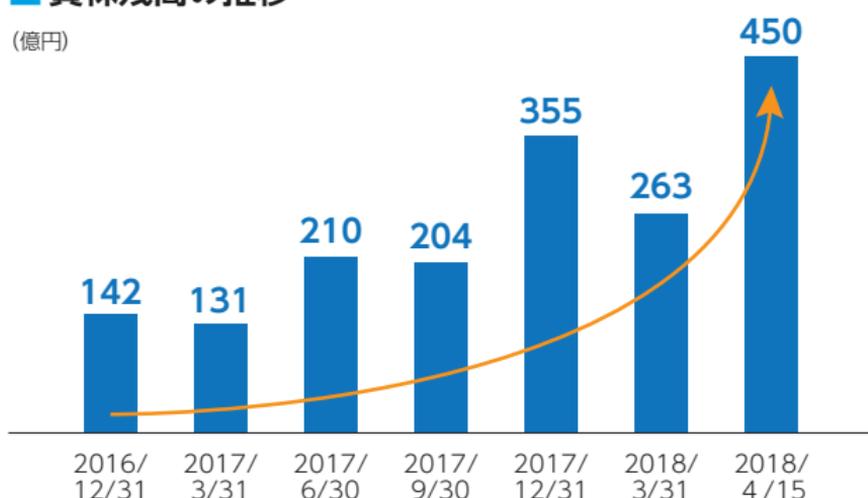
### 証券・FX事業

現在、2017年3月より運用開始したビッグデータ解析や人工知能(AI)の活用による店頭FXの収益性改善の取り組みをさらに推し進め、もう一段上の改善を目指しています。

また、預かり資産拡大に向けた施策のひとつとして、2016年10月に開始した貸株サービスは、順調に貸株残高が増加し、収益にも貢献しています。2018年度は、一般信用の売りサービスや銀証連携サービスの開始など、サービスの拡充を予定しています。今後の展開にご注目ください。

### ■ 貸株残高の推移

(億円)



### 仮想通貨事業



仮想通貨事業は、交通広告を中心としたプロモーションを行

い、口座数は堅調に増加しています。昨年5月の本格サービス開始から10ヶ月後の2018年3月末で約14万口座と証券取引口座の約半分に近づく規模となりました。

収益面でも、店頭FXで培ったノウハウを活用しつつ、カバーモデルの確立に向けた施策を推進し、足元の収益は安定的に推移しています。今後、サービス向上によってシェアを拡大し、さらなる成長を図っていきます。

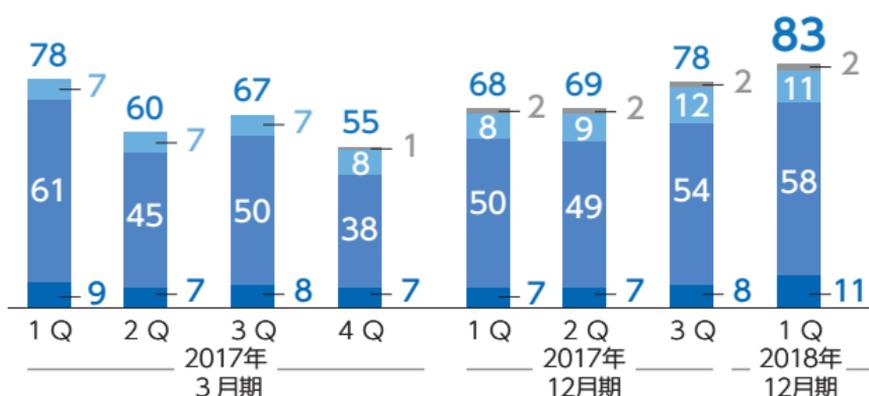
また、今春、仮想通貨業界団体「日本仮想通貨交換業協会」が発足し、GMOコイン社長の石村が理事に就任しました。グループを挙げて、仮想通貨業界の健全な成長・発展にも貢献していきます。

## 四半期業績の推移

### 営業収益

- 受入手数料
- トレーディング損益
- 金融収益
- その他

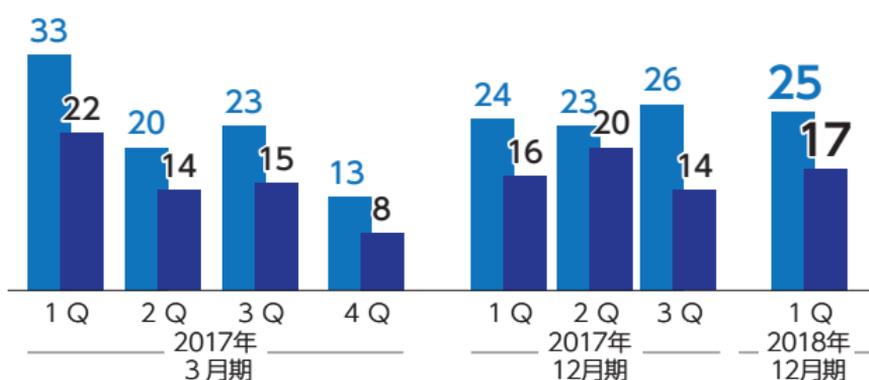
(億円)



### 営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

- 営業利益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)



## 株主還元方針と配当の状況

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、**親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%を目途に、四半期ごとに配当することを目標**としています。

2018年12月期第1四半期末配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり7.46円といたしました。

| (単位:円)    | 1 Q         | 2 Q  | 3 Q | 期末   | 年間    |
|-----------|-------------|------|-----|------|-------|
| 2017年12月期 | 6.90        | 8.50 | —   | 6.20 | 21.60 |
| 2018年12月期 | <b>7.46</b> | —    | —   | —    | —     |

※ 決算期変更の経過期間となる2017年12月期は9か月間を連結対象とした変則的な決算となっています。

# ホームページのご案内



<https://www.gmofh.com/>

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

## 会社情報

(2018年3月31日現在)

### 会社概要

- 商号 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社  
(GMO Financial Holdings, Inc.)
- 本店所在地 〒150-0031  
東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスター
- 代表者 代表執行役社長 グループCEO 鬼頭 弘泰
- 事業内容 金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理  
ならびにこれに附帯する業務
- 設立 2012年1月4日
- 資本金 623百万円
- 従業員数 350名(連結)

### 株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQスタンダード
- 証券コード 7177 上場日 2015年4月1日
- 事業年度 1月1日～12月31日 定時株主総会 毎年3月
- 定時株主総会基準日 12月31日 1単元の株式数 100株
- 剰余金の配当基準日 3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)  
受付時間: 土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00
- 各種事務手続き 株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>  
なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
- 公告の方法 電子公告 公告URL: <https://www.gmofh.com/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。